令和6年度 第8回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和6年12月26日（木）午後2時30分から

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、
阿部委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、
小熊委員、渡邊委員、竹島委員、三浦委員、石山委員、横山委員、小林委員、
伊藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員

計20人

(欠席：佐藤(康)委員、恩田委員、前田委員、清水(文)委員、
皆川委員、寺山委員、有田委員(竜)委員、野口委員、遠藤委員、日下委員)

事務局〔北区役所関係〕

北区長、副区長兼地域総務課長（以下「副区長」）、区民生活課長、
健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、消防局北消防署、
豊栄地区公民館長、北区教育支援センター長、地域総務課長補佐2人、
地域総務課職員5人

計17人

傍聴4人

1 開会

坪木副会長

はい。皆さん、こんにちは。今日は前田会長が体調不良のため欠席でございますので、私、坪木が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

インフルエンザが47週あたりから、だんだん右肩上がりに増えております。それに合わせて、新型コロナウイルス、手足口病等々もなかなか少なくなっていないということでございますので、皆さん健康には十分注意してやっていただきたいと思います。

それでは、議事に入ります。最初に、「次第2(1)議事事項でございますが、令和7年度北区特色ある区づくり予算事業(案)」についてです。この件につきましては、議事資料1のとおり、市長から自治協の皆様に意見を求める旨の依頼が届いております。事務局からの説明のあと、皆様にお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、説明をお願いいたします。

議事事項1「令和7年度北区特色ある区づくり予算事業(案)」

地域総務課

はい。副区長の江戸です。まず、私からご説明します。

令和7年度、次年度の北区の特色ある区づくり予算事業についてです。本件は、11月に区づくり予算事業の概要、途中経過を説明させていただきました。今回は議事資料1の

とおり、区自治協議会条例第7条第1項第3号により、この12月の自治協議会において、特色ある区づくり予算事業全体の意見を聴取し、自治協議会においてご了承いただきたいというものでございます。最終的に2月の市議会で審議いただきまして、議決を経て決定することになります。また、本日の意見聴取をした後に、若干の変更の可能性がありますので、ご了承願います。

それでは、議事資料1-1をご覧ください。「特色ある区づくり予算事業（案）」の提案について、一覧となります。はじめに、表自体についてご説明します。左から、事業名、担当課、事業内容、新規等の区分、そして協議中ですが、令和7年度の予定額となっています。左側に表記のある黒い四角は、「区ビジョンまちづくり計画」の目指す区のすがたで、本資料は目指す区のすがたごとにとりまとめております。区企画事業11事業、自治協議会提案事業3事業、合わせて14事業を予定しています。なお、区企画事業11事業のうち、1事業が新規です。現在総額は決まっていますが、予算額は令和6年度予算と同額の2,900万円を予定しています。また、前回11月の経過報告時に、区関連事業として説明した4事業、出張児童館事業（どこでもじどうかん事業）、子育て応援事業、北区もの忘れ検診、「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業については、防災・福祉関連の事業です。基本的に防災・福祉関連事業は区の特徴ではなく、市全体として考えていくものとしているため、今回の資料には含まれておりません。

そのほか、議事資料1-2は、事業別の事業計画書をまとめたものとなります。後ほどご覧いただければと思います。

それでは、各課から順に説明させていただきます。はじめに地域総務課分です。4事業となります。1つ目は、番号1番「北区水辺大学」です。新規事業で、予算の予定額は100万円としております。北区にある豊かな水辺および活動する地域団体にスポットをあてて発信し、区民の区に対する愛着を因るため、地域団体などと協働で体験型の事業を実施します。

2つ目は番号5「大学連携『未来のまちづくり』事業」です。継続事業で、予算の予定額は100万円です。今年度から開始した事業で、大変ご好評いただいております。令和7年度は、今年度の参加者から頂いたご意見を参考に、健康・スポーツ・防災の分野の講座を開催する予定です。会場は、今年度と同様にラグーナスクエアを予定しております。

3つ目は、番号10「北区郷土博物館魅力発信事業」です。予算の予定額は100万円です。北区郷土博物館を起点に、北区の歴史・文化・伝統を北区の魅力として発信します。常設展示コーナーの充実、伝統文化である葛塚織や、郷土芸能保存団体による神楽、獅子舞、盆踊りなどを広く市民に発信し、北区の魅力を再発見する機会とします。

4つ目、12から14番は、自治協提案事業です。令和7年度は第10期の1年目であり、令和8年度に実施する事業内容を検討するため、各部会が北区の課題、現状について調査・研究を行います。予算額は各部会40万円、3部会合計で120万円です。

以上、地域総務課分の説明を終わります。

区民生活課

区民生活課です。番号2「水辺ふるさとづくり事業」です。継続事業で、予算の予定額は250万円です。ひょうたん池、十二瀨、濁川自然生態観察園で、地域団体が主体となっ

て近隣の小学校と連携し、自然観察会や水辺環境の保全活動を実施するものです。自然環境についてのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、次世代の担い手の育成につなげます。区民生活課は以上です。

産業振興課

続きまして、産業振興課です。番号3「キタクなるみどりの景観共創事業」です。こちら、今年度まで「海辺の森共創の場形成事業」としていたものについて、事業名変更となっております。継続事業で、予算の予定額は450万円です。海辺の森や農村部の環境保全活動を支援し、魅力ある自然環境を教育や観光に活用し、交流人口の拡大を図ります。

番号6「北区トマト王国プロジェクト」です。こちら継続事業で、予算の予定額は200万円です。農作業の効率化・省力化を図るとともに、北区産トマトの魅力を県内外へ発信し、ブランド力強化と園芸産地の活性を図り、儲かる農業の実現をめざします。また、新規就農希望者支援および空き農地の有効利活用に取り組みます。

番号7「商店街ブランディング事業」です。こちら継続事業で、予算の予定額は260万円です。市場プレミアム商品券を発行するほか、うまいもん市場やこらっせ松浜、キテミテキタク区など地域密着のイベントを開催して、にぎわいを創出するとともに、エリア全体でのイメージアップおよび地域への愛着形成を図ります。

番号8「産学官豊栄まちなかりノベ事業」です。こちら継続事業で予算の予定額は350万円です。産学官の連携により、リニューアルした多世代の交流の場、ラグーナスクエアを活用し、まちなかのにぎわいを創出します。

番号9「キタクなる魅力創造プロジェクト」です。こちら継続事業で、予算の予定額は370万円です。観光資源を整備して、新規顧客の開拓とリピーターの増加をめざします。あわせて、市外・県外・外国人・若者に向けた広報を強化して、交流人口の拡大を図ります。

番号11「北区エンジョイスports事業」です。こちら継続事業で予算の予定額は300万円です。気軽にスポーツを楽しめる、区民参加型のイベントや、各種競技別大会を開催し、多くの人がスポーツを愛好する機運の醸成を図ります。あわせて、ジュニア世代の課外活動を支援いたします。以上です。

建設課

最後に建設課です。番号4「松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業」になります。継続事業で予算の予定額は300万円です。毎年、松浜海岸における飛砂被害の軽減と、自然環境の保全を目的に、アキグミの植栽と飛砂防止ネットを設置しています。来年度も松浜小学校や阿賀野川河川事務所と調整しながら、実施していきたいと考えております。以上です。

坪木副会長

はい、ありがとうございました。それでは、ご質問、ご意見をお伺いします。ご質問、ご意見がありましたら。はい、佐藤さん。

佐藤（哲）委員

佐藤であります。1つだけお聞きしたいのは、1番と2番の事業について、地域総務課担当、区民生活課担当ということで分かれています、いずれも水辺に関するものということで、事業内容を見る限り、実質的には同じ感じのものじゃないかなということで、その辺はどうなのかなと。4番建設課さん担当の松浜海岸、これは建設的なものでまったく違うと思いますが、1番と2番の住み分けがよくわからないというか、重複する部分があるのではないかとということで、お聞きしたいと思います。

地域総務課

ご質問ありがとうございます。1番の「北区水辺大学」は、新規事業としてやりたいというものでございまして、講座ですとか、体験型事業みたいな形で、北区の豊かな自然を区民の方により知ってもらうような、体験型の事業を今考えているところでございます。2番につきましては、継続事業で、区民生活課が自然環境の保全のような活動をしておりますので、そういった面での違いがあるといったところでございます。

佐藤（哲）委員

体験しながら保全に努めるとか、そういうふうに一本化はできないものでしょうか。

地域総務課

ちょっとフィールドを違ってやりたいと思っている部分もあるので、来年度1年間やってみて、ご意見のとおり、また統合する部分があれば、検討してみたいと思います。

坪木副会長

よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。ほかにありますでしょうか。
はい、伊藤さん。

伊藤委員

質問というか、要望というか。私は北区郷土博物館で、市民ボランティアガイドなどを
するボランティアのグループに属しています。そこで「北区のお宝マップ」というのを、
来た方に配布しているのですが、それがなくなるかもしれないというのを聞いたもので。
この資料は魅力発信、北区ってどんな魅力があるのかな、ということを発信するのにとて
もいい資料だと思います。博物館の中ではそのマップでジグソーパズルなどを作成し、来
た子どもたちが体験できるという、そういう教材も活用しているところですが、有料化と
いうこともありますので、展示等の充実も大事ですし、充実した配布物というのを
お考えいただきたいと思います。よろしく願いします。

地域総務課

ご意見ありがとうございます。

坪木副会長

よろしいでしょうか。

伊藤委員

はい、ありがとうございます。

坪木副会長

ほか、ございますか。はい、菊地さん、どうぞ。

菊地委員

すみません、事業ではないのですけれども、「ひょうたん池」という名称なのですが、実は正式名称というのが、「松浜の池」になっています。なので、できれば私たちが今まで親しんできた「ひょうたん池」で統一できないものなのかどうかというの、ちょっとお聞きしたかったのですけれども、いかがでしょうか。

建設課

申し訳ありません。「松浜の池」と呼ばれているということ、今初めてお聞きしましたので、建設課発信では「ひょうたん池」と統一はしているのですが、確認させていただければと。

区民生活課

水辺マップとかは「松浜の池（ひょうたん池）」と書いてあったりしますね。「（ひょうたん池）」というふうに。市が発行したものだと思うのですが。どちらもわかるように、「松浜の池」が正式で、「（ひょうたん池）」というふうに書いてあります。

菊地委員

確か正式名称というのがなかったと思ったので。それで私たちは呼びやすいひょうたん池、ひょうたん池と昔から呼んでいるので、できれば呼び慣れたほうがいいのかというふうに思っていたのですが、それちょっと調べてもらって、正式名称が「松浜の池」になっているのであれば、もうそれはしょうがないと思いますけれども、まだ決まってないのであれば、できれば「ひょうたん池」にしてもらったほうがなじみやすいと思います。

建設課

わかりました。ちょっと調べさせていただきたいと思います。

菊地委員

よろしくお願いします。

坪木副会長

では、調べていただくということで。ほかにございますか。はい、川島さん。

川島委員

北区「みどりの景観共創事業」ですか、この件の、海辺の森の件なのですけれども、今つどい棟など改修しているわけですが、こういうつどい棟をもっと皆さんが利用できるように、例えば企業等の研修会に使うとか、それでキャンプ場を利用してもらおうというようなアイデアなどを提案したいといった場合、どうすればよろしいのでしょうか。また、そういうアイデアというのは受け入れる余裕はあるのでしょうか。

産業振興課

はい、ありがとうございます。今、海辺の森はリニューアルの計画を立てておりまして、つどい棟という建物があって、今までほとんど利用されておりました。今まで利用頻度が低かった理由が、空調設備がない面と、あと照明が暗くてとても利用できる状況ではありませんでしたので、空調設備を設置しまして、それから蛍光灯も交換しました。来年度もトイレの改善を開始しようかというような形で、設備をまず改善して、今後指定管理者と協議しながら、利活用を図っていきたいと思っております。

相談というのは、まず指定管理者のところがどのような貸し出し方をしようかというところを考えていきますので、指定管理者と一緒に、また私どもも参加しながら、広く活用していただけるような形でやっていきたいと思っております。

坪木副会長

どうですか。よろしいですか。

川島委員

指定管理者に提案したら良い。ということでよろしいのでしょうか。

産業振興課

あそこの公園のところ、条例では、おおまかなところしか決めておりませんで、細かい運用につきましては、指定管理者のほうで提案いただいて、私どもの了承を得て動くという形になっています。指定管理者が「こうしたい」ということに合わせて、それに寄り添ったハードの整備をしております。ですので、先ほど言いましたように、施設の改修、それから、今入り口、もしかしたら海水浴場からまっすぐの道ができると、「もっと地域の人が使いやすくなるかな」というような提案もいただいておりますので、どうしたらもっと使ってもらえるのか、というところを協議しながらやっていきたいと思っております。どうぞ地元の人もどんどん、「こういうふうな使い方をしてはどうか」などの要望をお寄せいただきたいと思っております。

坪木副会長

どうですか。よろしいでしょうか。ほかのご意見、ご質問ございませんでしょうか。ないようですので、事業の執行にあたっては、ただいま出された意見を十分配慮されたいとの

意見・要望を付して回答することとしてよろしいでしょうか。事務局、いかがでしょうか。

事務局

はい、承知しました。そうしましたら、今の意見をまとめまして、回答の文書案をつくりまして、皆様に送付、報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

坪木副会長

はい、よろしくお願いいたします。

続きまして、次第3、報告事項（1）になります。老人憩の家指定管理者の指定について、健康福祉課長から報告をお願いいたします。

報告事項1「老人憩の家指定管理者の指定について」

健康福祉課

健康福祉課です。北区老人憩の家指定管理者の指定について、ご報告させていただきます。現在北区には、阿賀浜荘、しあわせ荘、新崎荘という3つの老人憩の家がございます。この3つの老人憩の家について、令和7年3月31日で現在の指定管理期間が終了することから、新たな指定管理者を選定させていただきました。そちらの資料の3番にありますように、現在も含めてこの設置の経緯や、地域における自治振興、施設運営の効率性の観点から、地元住民団体に管理運営を依頼してきました。現在は新潟市北地区老人クラブ連合会さんに指定管理をお願いしております。その期間が5年間ということで、令和2年4月1日から令和7年3月31日までとなっております。この3月31日で指定管理が終了するというので、次の令和7年4月1日からの指定管理者の選定が必要となりました。本来、この指定管理期間は5年を原則としますが、現指定管理者である北地区老人クラブ連合会さんから5年は難しいというお申し出を受けまして、本来5年とするところを1年間とさせていただきます。指定管理期間は令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間とし、北地区老人クラブ連合会さんが若干名前が変わりまして、「北地区老人憩の家管理運営委員会」に指定管理をお願いすることとなりました。

今後の予定になりますけれども、今年度のうちに地域の自治会長さん等への説明をさせていただくほか、年明けには利用者の方々にも説明させていただきながら、また次年度には次の指定管理者が必要となりますので、今後も視野に入れながら、新たな指定管理者を選定していきたいと考えております。報告は以上です。

坪木副会長

はい、ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは次にまいります。続きまして報告事項（2）部会の会議概要について、各部長から報告をお願いします。福祉教育部会は休会となっておりますので、地域づくり部会について、佐久間委員からお願いします。

報告事項2「部会の会議概要」

佐久間委員

地域づくり部会です。お願いします。11月の部会では、防災かるたの校正データの確認を行いました。別紙のかるた札のデータをぜひご覧ください。また、お披露目会として2月に行われる「北区ふゆっこまつり」に出展するというので、開催形式を検討しました。時間を決めて参加者を募り、複数回行うという案が出ています。お時間、ご都合がつけば、ぜひ皆さんもご来場いただき、一緒に参加してもらえたらと思います。

あとは、北区の交通マップについて。令和3年4月に地域づくり部会で発行したそうなのですが、現状と一致していないために、更新の作業を行います。以上です。

坪木副会長

はい、次に小日向さん。

小日向委員

自然文化部会です。自然文化部会は、11月にビュー福島潟6階で行ったトークセッションについての反省会を行いました。トークセッション「潟料理の魅力を語る」ということで、3名の方に話していただいたことが非常によかったなどの意見がありました。今後さらに福島潟の魅力を発信するという案もいろいろ頂きました。特にビュー福島潟の6階展望ホールについては、週末にアルコール類の提供、食事の提供ができるようにしたらいいのではないかという意見もありました。今後とも、福島潟自然文化祭の雁迎灯については、特に1週間LEDライトで点灯するというので、特にその1週間についても、潟料理を出すなどのことができればいいのではないかという案が出て、非常にいい部会であったと思います。以上です。

坪木副会長

はい、ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見などがありましたらお願いいたします。

ないようですので、次に進みます。次は次第4、その他でございます。まず事務局から何かありますか。

報告事項3「その他」

健康福祉課

健康福祉課です。障がい者支援施設等の開設についてご報告をさせていただきます。皆さんもご存じかもしれませんが、北区太夫浜地内に、社会福祉法人 新潟太陽福祉会という法人がございます。この太陽福祉会の敷地内に、来年度4月1日から新しい障がい者支援施設が開設されることになりました。新潟市では、国や本市が掲げる、障がいをお持ちの方の地域生活への移行に向けた施策を講じているところではございますが、入所施設

の待機者数が非常に増加傾向にあることから、本市の障がい福祉計画において、施設入所者数を増やす成果目標を定めるとともに、新たな障がい者支援施設を整備するために、この施設の開設に向けて、国と県と調整を進めてきたところです。

また、本市には福祉型の障がい児入所施設といったお子さんの施設がなくて、市外の施設に支援を委ねざるを得ない状況がずっと続いておりました。そういったことを解消するために、この障がい児の入所施設も整備することになりました。

定員については、障がい者支援施設は30名、福祉型障がい児入所施設定員としては10名、あと短期入所が2名といった内訳です。開所予定時期は令和7年の4月です。入所については入所調整会議といったものを経て、入所される方を決めていくところではございまして、障がい者については、本市における知的障がいの入所待機者の評価表点数順上位者のうち、新施設への入所を希望される方を対象に、障がい福祉課および入所施設の代表者を構成員とする入所調整会議を開催して、入所者を決定します。

また、障がい児については、市の児童相談所が県の児童相談所と協議の上で、入所を決めていくというような流れになっております。ご報告は以上になります。

坪木副会長

はい、ありがとうございます。ほか、ありますでしょうか。

豊栄地区公民館

地域力アップ大作戦について案内（省略）

坪木副会長

はい、ありがとうございます。ほか、ありますでしょうか。はい、川島委員。

川島委員

今日の新潟日報で、社会福祉の推進や産業振興などの5分野で、市の発展に貢献した人が新潟市で表彰されております。この中で、地域・社会の振興ということで、清水博恭さんが表彰されているわけです。祝意と敬意を述べたいと思います。

坪木副会長

表彰されたということで、大変おめでとうございます。

（拍手）

坪木副会長

はい、ありがとうございます。そのほか、ありますでしょうか。

佐久間委員、どうぞ。

佐久間委員

佐久間です。先月お話が出た、岡方第一小学校、第二小学校、岡方中学校の統合に関し

ての意見なのですが、統合に向けて新しい学校になじめるように、教育委員会とか学校でも、少しずつ新しい学校に出入りをしたりして、すぐになじめるような対策はとられていくと思いますし、笹山小学校が木崎小学校に合併するときもそういう動きがあって、スムーズになじめたようです。ただ心配なのが、通学に関して。私は、自分の子だと思ったときにすごく心配で、歩いて今まで学校へ通っていた子たちが、バスに乗っていくわけですよ。170人ぐらいの子がバス通学になるわけで、保護者の通学に関する心配もあると思うので、近年、豊栄南小学校や笹山小学校が合併をしたときのデータがあると思うので、合併後の状況についてなかなかお話を聞く機会がないので、合併後、子どもたちの通学の様子などを知ることができれば、私たちも住民として安心です。

これから統合を迎える保護者も安心なのではないかなと思うので、今後お話を聞かせてもらえたらありがたいです。

坪木副会長

はい。自治協議会で取り上げて、ちょっと深掘りしたいと、そういうようなことでございますでしょうか。

佐久間委員

バス通学で、もし寝坊してバスに乗れなかったらどうするのかなど、旧豊栄南小学校の子たちはスムーズに行けているのかなど。バスのルートとかもすごくいろんな話し合いがされて、ルートや時間が決まったりすると思うのですがけれども、運行してすぐの頃って、いろいろトラブルがあったりとか見直しが入ったりすると思うので、どういう状況だったのか知りたいと思います。

坪木副会長

はい、わかりました。今の佐久間委員の意見ですけれども、この会議で、次回以降になるとは思いますけれども、協議の場を設けたいということですが、皆さんどうでしょうか。賛同していただけますでしょうか。よろしいでしょうかね。賛同の声がありましたので、次回以降、この件について取り上げたいと思います。事務局、よろしいでしょうか。

事務局

教育委員会、教育支援センターなどと相談しながら、佐久間委員とも打ち合わせをしながら、次回以降、何らか提示できるように準備したいと思います。

坪木副会長

伊藤さん、どうぞ。

伊藤委員

すみません、私も葛塚小校区に住んでいる者なわけですがけれども、これからの統合に向けて、今までと違うのは、コミュニティも違う。豊栄南が一緒になったのは、同じコミュニティセンターとか文化交流とか、普段からしている中での統合ということだったので

が、コミュニティ協議会が違う。だからこれから統合に向けて、それぞれの地域のいいところを、さらに教育の中でも発揮していこうというふうに、意見交流というか、その辺の道筋も、私たちにも示していただきたいと思います。

坪木委員

はい、ありがとうございました。その辺の意見も加味しながら、今後取り組んでいこうというふうに思いますので、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

事務局

コミュ協さん同士の交流ということだと、むしろコミュ協選出の自治協議委員が出てられるので、そんな現状お話しいただいたほうがいいかなと思うので、また調整させていただいていいでしょうか。お願いします。

坪木副会長

会議の中でいろんな情報が出てくると思いますので、その辺はオープンにしてやっていければなと思います。よろしいでしょうかね。

ほか、ございますか。ないようであれば、会長代理として、私から来月の会議の開催について、提案がございます。新潟市区自治協議会条例第8条によりますと、会議の招集は会長がすることとなっております。その代理ですが、私から提案をいたします。第9回1月自治協議会は、1月23日木曜日の開催予定と今のところとなっておりますが、現時点で審議事項や報告を受ける案件の予定がありません。皆さんにお諮りしたいと思いますけれども、1月の全体会議は何か皆さんからありますでしょうか。ないようでしたら、開催をせずに、休会にしたいという提案でございますが、どうでしょうか。特別ないようでございますので、1月につきましては休会といたします。

今後、開催の必要な事案がありましたら、事務局と相談して、適宜対応するということにしたいと思います。以上でございます。よろしくお願いいたします。

それでは事務局に進行を戻します。よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。以上で、本日の全体会議を閉会いたします。